

連携室だより

亥年 2019



平成最後の今年、箱根駅伝では青山学院大学の連覇が「4」で止まり、大学ラグビーでは帝京大学の連覇が「9」で止まりました。何事も継続すること、特に勝ち続けることはとても大変で難しいことです。時の流れとともに新しい動きに対応、進化しながら継続していかなければ勝ち続けることはできません。勝ち続けることは素晴らしいことですが、それに向けて地道に努力を続けていることが評価されるものだと思います。

当院の地域医療連携室は、平成15年開設し今年で17年となりました。当初は地域の医療機関の先生方と患者様の紹介などが中心の連携業務でしたが、今は医療機関の先生方はもちろん、ケアマネジャー、介護施設など他職種の方々と連携、調整を行なっています。「地域包括ケアシステム」というワードも浸透し、山口・防府圏域地域では今年、医療介護連携情報システム(県央デルタネット)が導入されます。医療だけでなく、介護・福祉と地域が連携をとり、一体となって患者様を支援し協働していくことが当たり前になってきています。勝ち負けではありませんが、患者様が住み慣れた地域で過ごすことができるように、新しい時代の動きに対応しながら地域との窓口として、よりよい連携が継続できるよう努力し、山口市の地域医療に貢献していきたいと存じます。今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

研修会開催します

佐々木外科病院では、昨年度までの「在宅医療提供体制構築事業協議会開催等業務」に引き続いて、在宅医療に関する研修会を開催いたします。今回は「第7次山口県保健医療計画始動！」と題し、以下のとおり実施することとなりました。研修費用は無料ですので、興味のある方はご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、参加希望やご不明な点等がございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

【開催日時】平成31年2月21日(木曜日) 18:00より(2時間程度、最終終了20:30)

【開催場所】佐々木外科病院老健棟2階(総合健診センター研修ホール)

【研修内容】①講演：「第7次山口県保健医療計画始動！各機関の役割とは」
～在宅医療連携の強化への再確認～

長岡秀和氏(株式会社川原経営総合センター病院コンサルティング部副部長)

②グループワーク：「在宅医療への連携に必要な情報」

【参加対象施設】医師会会員医療機関 病院、診療所、地域医療連携室、患者相談室、在宅療養支援診療所、一般診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、老人保健施設、サービス付高齢者住宅、有料老人ホーム、行政担当管轄・関連管轄部署各医療協会の連携担当者等

【問合せ先】佐々木外科病院 地域医療連携室

TEL 083-923-8817(直通) e-mail renkei@sasaki-geka.jp

曙会理念

地域の皆様の保健・医療・福祉のために貢献し、皆様に信頼され、地域とともに発展する組織をめざします。

佐々木外科病院理念

1. 消化器疾患を中心に、がん・外傷・整形外科領域の外科系専門病院として地域医療に貢献します。
2. 患者様から信頼される良質な医療を提供します。
3. 患者様の「病気」だけにとらわれず、「人」としてふれあう「やさしい医療」を実践します。

佐々木外科病院基本方針

1. 急性期病院として、急病にはいつでも(365日・24時間)受診できる病院を実現します。
2. 良質な医療の提供のため、医療設備の充実を図るとともに、より高い知識と技能を修得します。
3. 職員は相互に協力してチーム医療を行い、患者サービスの向上に努めます。
4. 患者様に必要かつ最適な医療が受けられることを第一に考え、患者様を中心とした地域医療機関との連携を行います。

地域医療連携室

【受付時間(祝祭日を除きます)】

月～金曜日 8:30～17:30

土曜日 8:30～13:00

【担当】

武重 亮(MSW、社会福祉士・主任介護支援専門員)

永久 法子(MSW、社会福祉士・介護支援専門員)

日野 麻樹(MSW、社会福祉士・介護支援専門員)

國廣 朝子(看護師)

【連絡先】

〒753-0076 山口県山口市泉都町9番13号

TEL 083-923-8817(直通)

FAX 083-923-8833(直通)

e-mail renkei@sasaki-geka.jp

URL <http://sasaki-geka.jp/>



地域医療連携室にて、診察・入院・検査(MRI・CT等)の予約を受け付けています。TELまたはFAXにてご連絡ください。

地域医療
連携室

